

令和6年第10回笠間市教育委員会定例会議事録

- 1 招集日時 令和6年10月22日（火） 午後2時30分開議
- 2 招集場所 笠間市役所教育棟 教育委員会室
- 3 議事録署名人 鳥羽田 信
- 4 教育長及び出席委員  
教育長  
教育委員 3名  
事務局 11名
- 5 傍聴人 なし
- 6 提出された議題（議事） 以下のとおり
- 7 会議の大要
  - (1) 開会  
小沼教育長 午後2時30分開会を宣す。
  - (2) 議事録署名人の指名  
小沼教育長 鳥羽田委員を指名する。
  - (3) 教育長の報告  
小沼教育長 別紙により教育長事務報告をする。  
  
小沼教育長 教育長的事务報告が終わりました。委員の意見を求めます。  
  
各委員 (特になしの声)  
  
小沼教育長 それでは、教育長の報告については、以上のとおりとします。
  - (4) 議事  
小沼教育長 それでは、議事に入ります。本日の議事「報告第20号」については、人事案件となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、審議を非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 それでは、異議なしと認め、「報告第 20 号」の案件を非公開といたします。

【報告第 20 号】 非公開

小沼教育長 続きまして、「報告第 21 号 専決処分の承認を求めることについて」事務局よりお願いします。

事務局 13 ページをご覧ください。「報告第 21 号 第 50 回衆議院議員総選挙及び第 26 回最高裁判所裁判官国民審査における職員の兼務（充当、事務従事）の協議について」の専決処分の承認を求めることについてご説明いたします。令和 6 年 10 月 9 日付けで笠間市選挙管理委員会から、第 50 回衆議院議員総選挙及び第 26 回最高裁判所裁判官国民審査における職員の兼務について、地方自治法第 180 条の 3 の規定による協議がありましたが、委員会を招集する時間的余裕がないので、専決処分を行ったものです。なお、10 月 27 日執行の選挙当日、教育委員会所管で従事する職員は 15 名となります。また、次のページ以降には、投票事務と開票事務の従事者一覧がございますので、後ほどご覧頂きたいと思っております。説明は以上です。

小沼教育長 ただいま事務局より説明がありましたが、「専決処分の承認を求めることについて」は、別紙のとおり上程されています。これより質疑に入りますが、何かご質問等がございますか。

各委員 (特になしの声)

小沼教育長 それでは採決に入りますが、原案のとおり承認することに異議ございませんでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 異議なしと認め、「報告第 21 号 専決処分の承認を求めることについて」は、原案のとおり承認いたします。

小沼教育長 以上で全ての議事が終了いたしました。

## (5) その他

小沼教育長

先月に引き続きまして、教育に関してお持ちのご意見について、一人ずつ雑感を共有していただきたいと思います。まずは吉崎委員からお願いします。

吉崎委員

先日、台湾旅行に行ってきました。目的の一つの理由は、台湾の新幹線に乗りたかったということでした。高雄から台北まで1時間30分、時間通りの運行で大変快適なものでした。この新幹線や台北の地下鉄は日本の企業が作ったもので、台湾の関係者は日本の交通網の科学技術を絶賛していました。私は、日本の科学技術の素晴らしさもあるけれど、国民性もあるのではないかと思います。最後まで仕事をしっかり成し遂げる誠実さ、そして、その仕事を振り返って改善をするなどの非認知能力が、知識・技能・思考・理解・判断力のような認知能力とともに、学校教育の中でも非常に重要視され、注目されています。私は、この非認知能力を育てるには学校教育の役割が大変大きいと考えています。例えば、給食をみんなで配膳し、片づけをする、掃除を分担して行う、それから運動会や文化祭といったものをみんなで作り上げる、これら一つ一つが子どもたちの非認知能力の醸成の一助になっているのだろうと考えた台湾旅行でした。そして、この学校教育の良さを継続していきたいと思いました。

小沼教育長

それでは続いて、戸田委員お願いします。

戸田委員

本日、教育施設訪問に参加して給食センターを見学しました。見学の機会があまりないので良かったです。そこで、室長からみの価格が倍になったことなど、仕入れの大変さを伺いました。その中で、保護者が負担しているのは材料費のみで、そのほかの調理費などは市が負担していることを改めて聞きました。今、全国的に給食費無償の流れがありますが、なんでも無償にしてよいのか、考えなければいけないところもあるのではないかと思います。もう1点です。先日大原小学校の計画訪問に参加した時、校内研修も一緒に行っていて、ほかの学年の先生方も授業を見に来ていました。その時、先生が研修に参加しているクラスの様子を見てみたら、たいへん静かに、それぞれタブレットやドリル、読書などをしていて非常に落ち着いていました。先生方も完璧ではないですし、キャリアも違うので、研修する機会はとても大事です。先生たちも教え合い、勉強しているという姿を保護者や子どもたちに見せていいことなんだと思いました。大原小学校は、月に1回このような研修を行っているということでしたが、市内の

ほかの学校はどのようなのでしょうか。以上です。

事務局 各学校の研修ですが、学力向上というところで、計画訪問や学校行事などの兼ね合いもあり、研修が進む学校となかなか着手できない学校があります。ただ、意識的にはどの学校も取り組んでいますので、今後、計画訪問も含めて、指導室からもアドバイスを行いたいと思います。

戸田委員 わかりました。私は大原小学校の話を聞いただけですが、学校によって取り組み方が違うように感じました。外部の研修に参加することも大切ですが、仲間内で見せあって行う日常的な研修も大事だと思いました。

小沼教育長 年度当初の校長会において、学校の学力向上の課題と、研修主題があってないのではないかという話になりました。要するに、研修主題が、例えばICTなど世間の流行に向いてしまっているので、本来の算数数学の学力を上げようという課題とよく調整して、研修主題を考えるように伝えてあります。来年度また修正を加えながらやっていきたいと思っています。

小沼教育長 給食について、事務局から何かありますか。

事務局 本日は教育施設訪問で給食センターを見学いただきありがとうございます。教育委員の方々に見ていただくこと、話を聞いていただくことがあまりないので、大変良い機会でした。

小沼教育長 給食費の無償化は、44市町村のうち16市町村で行っています。それがいいかどうかは議論の余地がありますので、また後日行いたいと思います。

小沼教育長 それでは続いて、鳥羽田委員お願いします。

鳥羽田委員 みなみ学園義務教育学校に計画訪問に行った時の感想を含めてお話ししたいと思います。主に特別支援学級を見学しました。前期課程が3つの授業、後期課程が2つの授業を行っていました。まず思ったのが、環境的に厳しいのではないかということでした。一つの教室を二つに分けていたり、狭い教室でやっていたり、周りの音が聞こえてきて集中しにくい環境だと思いました。物理的なものなので、改善は厳しいのかなと思いましたが、来年度はさらに学級が増えると聞いたので、どのような見通しになっている

のか疑問を感じました。それから授業ですが、ソーシャルスキルトレーニングのような形で取り組んでいるのが前期課程で一つ、後期課程で一つあり、対象生徒は二人だったのですが、スムーズに授業に入っていって、いつの間にか授業に入っているなどといった形で、友達とのトラブルが起きた時にどうしたらよいかといった話をしながらやっていたので、なかなかいい授業だなと思って見学しました。それから、5つの教室のうち電子黒板を使っているのは3つの教室だったのですが、何かしらの障害のある子どもたちにとって、視覚からの情報は非常に入りやすいと思いました。全部の教室に電子黒板が使える環境があるといいと思いましたので、来年度の教室等の見通しがわかれば、教えていただきたいと思います。

事務局

管理訪問で行った時、新しく増やす教室にする可能性がある倉庫を見せてもらいましたが、まだエアコンなどの設備が整っていないので、そこが課題だと言っていました。それをどのように進めていくのかまではまだ決定しておりません。

鳥羽田委員

なるべく良い環境で学習できるといいと思いますので、予算的な方はよろしくをお願いします。みなみ学園義務教育学校は、1学年1クラスで、定員に満たないクラスもあるにもかかわらず、教室が足りないということは、特別支援学級が増えているからだろうと思ったのですが、みなみ学園で特別支援が増えている理由を、事務局の見解でよいので教えてください。

事務局

小規模特認校の考え方でいうと、特別支援の子どもたちが行きやすく、市内全域から特別支援学級に通うならということで見学に行って、みなみ学園に転校する子どもも多いので、そのようなことが理由にあるのかと思います。

鳥羽田委員

学校規模が小さく少人数で、先生の目が届くのではないかと、保護者の希望もあると思うのですが、逆にそれでみなみ学園の児童数が増えて、教室の環境が非常に厳しいということになっているとすれば、小規模特認校をみなみ学園だけではなく、ほかにも作っていくということも一つの解消方法かと思いました。この後どのようになるのかはわかりませんが、児童生徒数が減少する中で、特別支援学級が増えているということを知ると、この状況はもう少し続くのかなと思いますので、小規模特認校を作っていくということも考えていく必要があると思いました。以上です。

小沼教育長

小規模特認校の件は、ただいま行っています学区審議会で、今後協議していきたいと思います。みなみ学園でこれから考えていかなければいけないのは、欠席が年間30日以上の不登校の子どもことです。現在、対象者が22名いますが、そのうちの約6割は、ほかの学校ですでに不登校だった子どもの転入です。みなみ学園で学習活動ができないかという期待で、近隣の市町村から来ている子どももいるそうなので、その対応も考えなければいけないし、特別支援を必要とする子どもたちの転入も多く、毎月1人、2人が見学されている状況なので、そちらも考えていかなければいけない。みなみ学園を選んで来てくれるのはうれしい悲鳴なのですが、ここだけが増えている状況なので、学校施設も含めて考えていきたいと思っています。

(6) 閉会

小沼教育長 午後3時05分閉会を宣す。

8 議決事項

|        |                   |    |
|--------|-------------------|----|
| 報告第20号 | 専決処分の承認を求めることについて | 承認 |
| 報告第21号 | 専決処分の承認を求めることについて | 承認 |